

2005年(平成17年)6月4日 土曜日

2005年(平成17年)6月4日(土曜日)

37 事件・人・話題

39 社会

津波被災者に住宅31戸

スリランカ ハビタット 福岡建設へ

国連ハビタット(国連人間居住計画)福岡事務所(福岡市)は三日、スマトラ沖地震で津波の被害を受けたスリランカで、被災者向けに三十一

戸の住宅を建設する計画を発表した。計画によると、スリランカ南部のゴール県ハラピティヤ地区の低所得世帯に、千二百一十戸が全壊し、千二百一十戸が半壊したという。

津波で約六千九百戸が全壊し、千二百一十戸が半壊したという。住宅は約六千九百戸のうち約千九百万円を建設

資金に使う。同事務所は今後、残りの義援金を使い、インドネシアやモルディブでも住宅を建設する予定。

同事務所人間居住専門官の佐藤摩利子さんは「福岡の名前はアジアで浸透してきている。住宅建設などでこれから

もハビタットの存在感を示していきたい」と話していた。

「フクオカ村」建設

津波被災者

国連機関が住宅支援

国連人間居住計画(HABITAT)と名付けた住宅(ビタット) 福岡事務所は、支援事業を始めると発表。三日、スマトラ島沖地震で津波被害を受けたスリランカ南部のハラピティヤ地区の住民に対し、FUKUOKA VILLAGEと名付けた住宅を建設する計画を発表した。

津波で家屋が壊れた低所得世帯三十一家族に対し、海岸から離れた〇・四畝の土地に住宅や公民館を建設。電気供給などのインフラも整備する。事業予算は十七万五千円(約一千九百万円)。

同日、義援金を拠出した福岡県の麻生渡知事や福岡市の山崎広太郎市長、地元財界人らが知事公舎に集まり、ハビタット福岡事務所の活動状況を聞いた。

ラガスマンハンディヤ村で、スリランカ大統領が特別に用意した土地に九月までに建設。仮住居で暮らす被災者の定住を支援する。住宅地は「FUKUOKA VILLAGE」と名付けられる。

同事務所は「福岡の名前はアジアで浸透してきている。住宅建設などでこれから

もハビタットの存在感を示していきたい」と話していた。

Send children to Daham schools to build just society

- Athauda

Parents should send their children to Daham schools to build a just society...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

Some of the children who were sent to Daham schools are shown in the picture...

The Government is committed to providing quality education for all children...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

The Government is committed to providing quality education for all children...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

The Government is committed to providing quality education for all children...

Rebuilding of tsunami damaged houses starts in Galle and Kattankudy

Rebuilding of the tsunami damaged houses in Galle and Kattankudy has started...

The Government is committed to providing quality education for all children...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

The Government is committed to providing quality education for all children...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

The Government is committed to providing quality education for all children...

The Minister said he will encourage the parents to send their children to Daham schools...

The Government is committed to providing quality education for all children...

400 fishermen to receive fishing gear



The Government is committed to providing quality education for all children...

DAILY NEWS スリランカ 2005.5.31

ゴールとカッタクディで津波被害住宅再建事業に着手

(要 訳)

国連ハビタットは、スリランカのゴールとカッタクディでスマトラ沖地震津波により被災した住居の再建事業に着手した。この事業は、日本政府の資金援助を基に、国連ハビタットがスリランカ都市開発水道省と連携して実施する。すでにゴール市内の9つの居住区を選定、うち3地区で事業を開始しており、残りの地区でも間もなく着工する。

ゴールにおける再建事業の第一段階では、540軒の家屋の再建を予定している他、カッタクディでは6居住区で173軒の被害家屋の再建が行われる。2週間以内に再建家屋数は200軒になる予定だ。国連ハビタットは、同様の事業をバティカロア、キリノチ及びジャフナでも実施する。これらは、国連ハビタットが行う「スマトラ沖津波復興支援事業 コミュニティ・インフラと住宅再建事業」の一部として、各地に設置した事業事務所を通して進められるもので、被災地域に対して緊急支援を行うとともに、地方政府の機能回復を図る。インフラ整備や住居の再建に対する支援を通して、住民が津波被害を克服し、通常の生活に戻れるよう支援するのだ。

国連ハビタットは、これらの事業を通して各地域に対して住居の復旧・再建、インフラ整備や生活再建支援を行う。各被災地域に設けたコミュニティ開発協議会(CDC)が再建事業を運営する。住民を交えた協議会を定期的に開くことによって、地域のニーズと優先順位を明確にする。このようにして決定した再建作業は、コミュニティ契約のもとで、地方政府と国連ハビタットによる技術面の支援を受けながら、CDCが実施する。

被害の大きかったゴール市シヤンバラワッタ地区で開かれた着工式の席上では、コミュニティの指導者が国連ハビタットの住民参加型アプローチへの支持を表明した。聴衆を前に指導者は、事業の第一段階が成功することによって次の段階につながると激励した。日本政府はこの国連ハビタットの再建事業に対し、総額3億ドルを拠出している。